

- ・コラム(杉浦 良)
- ・お知らせ(作業所交流会、焼却炉
20年活躍、食品など頂きました)
- ・太陽と緑の会から助成
- ・ご協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

188号/2020 **Since 1984**

「木内昭さんとの思い出」

杉浦 良

2005年2月27日早朝の火災から復帰再建できたのは、元(株)木内工務店社長木内昭さんの力によることが大でした。その木内さんの事務所兼倉庫を移築したのが、今の月の宮生活棟です。高速道路建設に伴い解体することとなった建物を、良ければ使って欲しいと言われました。解体されたスレート屋根や鉄骨、サッシやコンパネなどを余すことなくリユース(再使用)することは、理念としては立派でも、実際には厳しい側面がありました。手間暇がかかるし、見栄えももう一つ、真っ新好きの方にとっては耐えがたいものがあるのでしょうか。ただお金もなく、想いだけで走り抜けてきた私たちにとっては、本当に有難いお話でした。

「まだ使えるのにモッタイナイことだ・・・」そんな口癖の木内さんは昭和3年生まれ。

「旧制中学時代は学業よりも、もっぱら勤労奉仕で、若い軍人将校がいつも威張っていた・・・もう1年早く生まれていたら、戦争に行っても命はなかったかもしれん・・・」と語る姿に、ご苦労多き道を歩んでこられたのであろう、そう勝手に推察していました。

そんな木内さんの下で、70坪2階建て軽量鉄骨コンクリートパネル張り(徳島市役所建設当時、総務課と福祉課が4年半使っていた仮事務所)のリユース建物を内部改装しました。活動費の余裕が少し出来ると、食堂兼作業室部分を区切りエアコンを入れてもらいました。雨もしのげる入口軒増設工事や、ダンボール、新聞、雑誌等のリサイクルステーションとして



木内氏(左)
島村氏(右)

の仕切り造りなどもお願いしました。全国からの機関紙や県内活動のインフォメーションコーナーを、階段壁面に作ってもらいました。チラシやポスターが綺麗に張れるようになってまもなく、一階入口付近からの火事で、全ては灰と化しました。

火事の前日は、月の宮作業所で自転車整備と、次の日の自転車バザー準備に追われていました。一日振りを見る、国府町南岩延の店舗兼作業所兼事務所跡。頭が真っ白になる暇もなく、消防や警察への対応に追われた記憶が蘇ります。

しばらくして変わり果てた建物を、何度も何度も見回る木内さんを見つけました。「2階の床をコンクリートにして、建て直そう。年寄ばかりだが、何とかなるわ！」会社はすでに解散していましたが、そんな言葉を頂きました。榊森本電気社長（現エコリース会長）の森本さんや(有)松村スレート社長の松村さんという、他からの助っ人もありましたが、あとは元木内工務店のパートナー業者の方々です。

「中の残渣物を片付けてくれれば、焼け残った建物の解体撤去工事費が随分安くなる」そう(株)バンドウリメークさんから教えてもらい、撤去作業をメンバーやスタッフ、ボランティアが中心となり、沢山の方々の協力を得てやり遂げました。そうするうちに、前と同じ坪数の新館設計図を携えて、木内さんが訪れました。

「基礎工事、鉄骨工事、内装工事、窓扉サッシ工事、塗装工事、左官工事、床工事等、人夫代も含めて、私の所に請求書が来るので、それをそれぞれ振り込んで欲しい・・・」

再建の主体は元木内工務店ではなく、太陽と緑の会だという意味でした。仮の設計図を私とあれこれ打ち合わせながら、新たな設計図に作り直す。建築基準法に照らし合わせての変更や、頂いた間伐材の活用方法の検討、暑さ寒さ対策や、維持管理コストの削減と省エネ再生可能エネルギーの活用など、当時 77 歳だった木内さんとの濃密な打ち合わせを、今でも思い出します。工事費総額がいくらになるのか、火災保険等に入っはいるものの、いくら保険金が入るのか、「復活大作戦」と名付けていただいたカンパ活動でいくら集まるのか、再建にどのくらいの時間が掛かるのかなど、判らないことだらけの中で、再建事業以外に、山ほどの雑用や日々の日常活動（リサイクル作業所、月の宮作業所としての）そして対外活動に追われました。

火災から 1 年後、今の新館（70 坪 2 階建）が完成しました。中の備品の手配や設置もやりながら、2006 年 4 月 24 日、木内さんのテープカットで開所を迎えることが出来ました。費用総額約 4 000 万円（保険から約 2000 万、カンパが約 2000 万）の内、500 万円は木内さんからの寄付です。

「普通に頼めば、その倍は掛かるわ・・・」そう別の業者の方に、教えてもらいました。唯々、有難い！と頭が下がります。

「今度の仕事は、本当に楽しかったな・・・！」そう嬉しそうに語った木内昭さん。父親は、歴史的建造物三河家住宅（重要文化財：徳島市富田浜）を設計した建築家木内豊次郎氏だったことを知りました。2 年後の 2008 年 2 月、徳島県代表として第 1 回ストップ温暖化大作戦全国大会（於：東京丸ビルホール）に、80 歳になった木内さんと 2 人で参加させていただきました。亡くなられたのはそれから 3 年後、新館が完成した 4 月を選ばれました。そんな方に、太陽と緑の会は支えられています。

お知らせ

第17回作業所交流会

12月7日、徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会加入の作業所・事業所が毎年開催しているふれあいフェスティバルが、加茂南小学校体育館で開催されました。

今回は14の作業所・事業所（参加者約200名）が集まり、作品の展示販売やパフォーマンス・出し物が行われました。加茂南婦人会の袋井用水音頭や防災音頭、奇術研究会細川さんの手品、あっぷる関係者の新山下バンド演奏などもあり、盛沢山のプログラムです。

また3人のメンバーの成人式のお祝い、メンバーの一言や朗読、作業所・事業所で作ったお弁当を食べ、参加賞やクイズの賞品、成人式の記念品まで独自製品というのが、この会の特徴です。それぞれの地域で活動する作業所・事業所が協同して行うことの意味が、ここにあります。

お忙しい中、来賓としてお越しく下さいました徳島市福祉事務所長の鈴江正様、加茂南小学校校長の中野勝邦様、加茂南婦人会会長の西森順子様、有難う御座いました。また実行委員として裏方を支えて下さいました皆様にも感謝申し上げます。

香川の大学生 見学研修

2月17日午後、四国学院大学大学生7名大学院生1名と富島先生（社会福祉学部教授）が来られました。毎年支援学校や小学校の教員を目指す学生を対象に、映画「そっちゃない こっちゃ コミュニティケアへの道」（1982年/110分/カラー監督/柳澤寿男）を講義で見た後、太陽と緑の会の活動（パワーポイント）を見ながら、代表杉浦の話をお聞きするというものです。

今回は、10年程現場で働いた後大学院で学ぶ方、小学校教員の内定を頂きながらも支援学校の教員を目指す方、就職内定をもらって最後の1週間をボランティア参加する四国大学学生の特別参加など、多彩な顔触れでした。

弁舌巧みで上手くまとめ上げることとは違う、筋がいい！とでも言える顔ぶれに、今どきの若者もまだ捨てたものではないな、と感じさせてくれるひと時でした。そんな学生を連れてきてくれた富島さんに感謝です。

差し入れとして頂いた讃岐うどんは、日曜日の昼メニューとして登場しました。有難う御座いました。

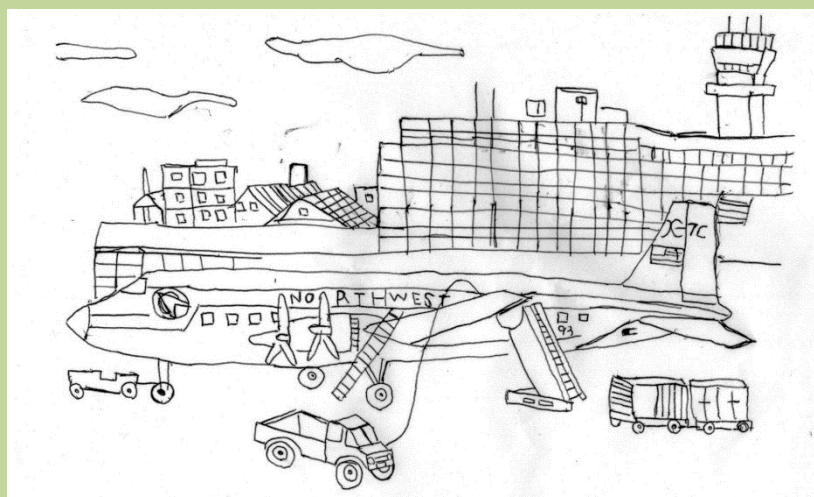


イラスト
久米君

焼却炉 20 年活躍

今から 17 年前に、廃掃法の改定に伴い火床面積 0.5 m²以下の焼却炉にもバーナーや送風ファンなどが義務付けられたことから、共同募金会から配分金を頂いて改造し使用を継続してきた焼却炉が、ついに寿命となりました。改造前に 3 年間使用しており、合わせて 20 年間使い続けたこととなります。

煙突交換 1 回（業者の方に依頼）、耐火セメントでの補修 4 回、熱電対交換、手作り灰落とし柵交換 3 回、扉鉄滑車交換 3 回、ステンレス板での煙突亀裂補修、耐熱塗装 10 回など自分たちでやれることは自分たちでやりましたが、とうとう限界です。同じメーカーで同じ大きさの廃掃法対応小型焼却炉を発注し、取り替えました。

食品など頂きました

「フードロスをなくすために、まだ食べられる不要な食材を集めてきました」と、浄土真宗のお寺（尊光寺等）の皆さんから、食料品・お菓子・調味料などを頂きました。今回も竹條さんが持参して下さいました。今年になって 2 月、3 月と来て下さいました。

「これは差し入れ！」とシュークリームと手作りの赤飯も頂きました。いつも有難う御座います。メンバー達の食材やおやつとして活用させて頂きます。

「ブドウいるで？」と段ボール一杯のシャインマスカットを、いつも支援して下さいる M さんから頂きました。「無農薬だから、見てくれは悪いけど・・・」

有難うございました。

キャンピングカーでお越しの N さんから、北海道ニセコで育てた紅ジャガイモを沢山頂きました。早速翌日の昼食のカレーに入れさせて頂きました。

北海道ニセコから徳島まで、道の駅で泊りながらの長旅、次は九州入りされるそうです。有難う御座いました。

ささやかな新年会

2 月 3 日節分の日の午後 6 時半から、太陽と緑の会新館にて新年会を行いました。令和 2 年が始まってすぐに

「S さんから頂いた鹿肉は、新年会の鹿汁用にとっておかんといかん。カレーには鶏肉入れるわ！」

と自称料理人メンバーの Y さん。

「まだやるかどうか決めてないのに、メニュー決めてどうするん?!」

「ほんならやらの?!」

ニヤリとしながら駆け引きに臨む Y さん。こちらも力量と胆力が試されます。せつつかれながら中洲市場のスーパーに総菜とお寿司の予約をお願いしました。

今回は頂いたスープ春雨、毎日カムカム（飲物）、ミカン、メンバー F さんに作ってもらった焼そば 15 人分、それにこちらで作ったコーヒーと紅茶、超大食いのメンバー F さん、O さん用のご飯も用意されました。メンバー S さんの手作りクッキーや理事・ボランティアの方々の差し入れもあり、T 理事の音頭のもと、麦茶で乾杯。産休から復帰したスタッフ K には、メンバー Y から出産祝いとして、食パンがプレゼントされました。

皆が何かひとこと言う間に 2 時間が過ぎ、手作りの新年会は終わりました。

立岩真也氏を囲む会

11月8日夜、立岩真也さん（立命館大学大学院先端総合学術研究科教授）を囲む会に、和泉芳江さん（徳島県社会福祉士会会長）からお誘いを頂き、「私の世界観」と「太陽と緑の会 27周年記念誌」を進呈できました。

近藤文雄（太陽と緑の会創立者）が自費出版した「私の世界観」。その後「ぼくの病気いつ治るの」（中央公論社）を出版することとなりました。「立岩さんの本の中に、太陽と緑の会が出てくる・・・」と事務局長の多田裕さん。

「・・・『ぼくの病気いつ治るの』は入手できるので持っています・・・色々活動されている方はなかなか文章として残していない・・・忙しいのでそんな時間もないし文章にするのも大変だし・・・そんな方々に会って話を聞き、それを纏める作業を大学院生としています・・・現場で活動されていた方が高齢になり、そんな方が亡くなると、活動そのものがこの世から消えて存在しなくなる・・・研究者としてそれを残すことが役目だと思っています・・・その意味でブックマーケットにない「私の世界観」は貴重で有難い・・・活動をしながら本も書いてる方は本当に少ない・・・」

ざっくり括ると、立岩さんの話は、こんな言葉になります。

社会福祉士会四国大会の前日に、講演される立岩教授を囲む会に誘って頂いた、和泉会長、多田事務局長、他皆さんに感謝です。

讃岐うどん頂きました

新年2日目の日曜日。

昼食は、理事Mさんから頂いた本場香川県の山田屋の讃岐うどん。

メンバーのTさんが50円コーナーからドンブリを10個持ってきます。

「人数は何人かいな」

「角天が2枚入っているのと1枚しかないのがあったら、少ない人は怒るわなあ」

「卵はどうしようか」

「やっぱり入れた方がええんちゃうん？」

「ワカメもないとあかんわなあ」

ワイワイガヤガヤと賑やかなやりとりの中でうどんが完成。

皆おいしそうにうどんをすすっていきます。

お替わりもできて大満足。

Mさんありがとうございました。

その他

徳島新聞 11月8日付朝刊、及び2月14日付朝刊の「阿波つれづれ譚」にて代表杉浦の文章を掲載して頂きました。

2月14日～16日 四国大学4年生の学生さんがボランティアとして活動に参加して下さいました。

3月7日午前、四国学院大学の富島先生の案内で、廣木道心さんとヒロキテルミさん、そして娘さん息子さんの4人が来所されました。

定休日

4月1日(水) 8日(水) 14日(火) 15日(水) 22日(水) 28日(火) 29日(水)
5月4日(月・祝日) 5日(火・祝日) 6日(水) 12日(火) 13日(水) 20日(水) 26日(火) 27日(水)
6月3日(水) 9日(火) 10日(水) 17日(水) 23日(火) 24日(水)

太陽と緑の会からの助成(第51回)

徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金(古紙1キロに対し5円、鉄屑、空き缶1キロに対し6円、ウエス1キロに対し10円、廃食油1キロに対して20円)平成31年度前期分(平成30年度後期配分)14万3800円が当会の太陽と緑の会福祉事業団に支給されました。

これを各分野で非営利活動に取り組んでおられる以下の団体の皆様に配分させて頂くことに致しました。(敬称略)

①障害者福祉活動への助成

共同連(差別とたたかう共同体全国連合)
(社会的事業所の法制化に向けた取り組みなど)
2万4000円

NPO法人 聴覚・ろう重複障害者生活支援センター(地域活動支援センターの運営など)(徳島市) 5000円

徳島県精神障害者家族会連合会(統合失調症、うつ病、躁うつ病などの精神疾患をもつ人を身内にかかえる家族が集まり、同じ悩みを語り合い、互いに支え合う家族会のネットワーク)
5000円

大阪障害者労働センターマツサク 3000円

②社会福祉活動への助成

徳島いのちの希望(社会福祉法人徳島県自殺予防協会)(電話による相談活動)5000円

徳島市社会福祉協議会 5000円

大阪釜ヶ崎喜望の家(野宿を余儀なくされた高齢日雇労働者の支援活動) 5000円

③国際協力活動への助成

公益財団法人 徳島県国際交流協会 1万円
モヨチルドレンセンターを支える会(ケニアにおけるストリート・チルドレンの支援活動)5万円
ペシャワール会(アフガニスタン等での医療事業、水源確保事業、農業計画) 5000円

④環境保全活動への助成

NPO法人 新町川を守る会(川を守り、水を活かしたまちづくり) 3000円

⑤その他の活動への助成

NPO法人 徳島県ボランティア協議会(ボランティア活動の普及を推進する活動)5000円

NPO法人日本NPOセンター(NPOの社会的基盤の強化を図る活動) 1万円

「小林茂の仕事」0タスケ隊(ドキュメンタリー映画「魂のきせき」製作委員会) 5000円

⑥災害支援

社会福祉法人ありのまま舎(宮城県仙台市)
(東日本大震災により被災された宮城県沿岸部の在宅重度難病者支援活動に対して)
3200円

支援金振込手数料600円

太陽と緑の会福祉事業団の助成活動は平成5年度よりスタートしました。各分野で非営利活動に取り組んでおられる個人・団体の皆様を対象に年2回、26年間で累計1540万9076円の助成を行ってきました。

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2019年12月1日～2020年2月29日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

生田、三好商事自動車部、匿名、田村、大久保、里東、大和、匿名、生田
(郵便振替口座)匿名、北岡、本田、堺、松田、匿名、瀧倉、匿名、杉本、佐藤、浜田、鈴江、伊地知、瀧倉、益田、荻野、大谷、巻島、野田、永口、高坂、太田、原、太田、森、足立、武田、三代田、榎本

品物を持って来て下さった皆様 (郵送含む)

○徳島市○武岡、谷口、民喜、杉浦、豊田、桑村、増田、田中、中村、田口、荒木、菅井、梶野、河口、岡田、井筒、岡本、矢和田、吉田、荒川、向井、森本、片山、高渡、薦田、井内、岸田、村上、鳴門教育大学特別支援学校、松本、半田、榎本、東條、ミセ、喜多、荒木、下泉、宮本、橋本、中川、鎌田、來田、下山、播磨、矢野、中山、山内、佐野、元木、福永、山口、中西、竹内、笠井、中井、石本、大石、原、岡本、立石、西岡、丸山、田中、徳永、榎尾、岡田、朝日、第一病院、四宮、木下、河野、吉岡、西岡、森本、住谷、加藤、元木、友成、山花、小林、荒木、後藤、川原、藤本、三浦、横山、笹尾、細川、榎原、堀、佐藤、森本、岩佐、陽地、佐野、池内、大黒、谷口、松本、梅原、笠井、前野、井川、川人、三浦、藤黒、小村、野村、早淵、原田、丸岡、横内、八幡、富林、菅生、佐川、近森、喜多、佐藤、細川、森川、真杉、松村、平野、牧野、森、小原、まゆやま学苑、岸本、松本、村上、カワノ、日本キリスト教婦人矯風会徳島、佐藤、上山、梶原、奥浦、河野、渡辺、徳永、下内、長田、木村、最上、柳澤、田村、梅壇、矢川、武市、石本、鈴江、森下、川端、徳島、広永、中村、近藤、津田、中野、佐尾山、四宮、美馬、高井、吉田、西山、西條、岩松、菅野、谷口、久米川、村口、宮脇、奥山、飯田、徳永、片山、藤吉、田坂、上久保、永浜、大橋、久保、高木、上田、島、榎本、宮北、鹿山、大松、北島、宮本、内藤、北井、カマタ、拍野、飼場、川原、窪北、田村、黒下、河口、柿本、セツタン、黒田、馬場、乾、宮脇、宮城、金澤、松本、久米、森本、川人、松下、半田、伊沢、田辺、久米川、下込、浅尾、福井、斎藤、岡本、小山、西、矢部、川端、笹賀、後藤、水田、美濃、高松、豊田、大島、吉川、杉内、カシハラ、谷、笹賀、国府小学校家庭教育部、植木、宮井、山本、大上、東條、元木、黒川、南、森、古庫、佐尾山、吉岡、武市、工藤、浦森、村上、小西、柳井、榎本、木下、二宮、木山、川口、杉原、和田、新居、山内、中村、石本、西、松浦、濱田、笹賀、若林、伊世、田部、川島、島田、西村、小原、西原、佐野、川崎、橋本、吉田、松浦、宮本、小川、片山、鹿山、(有)すみれ、小松、松島、田山、大岩、喜多、芦田、岡田、中石、川島、大久保、金澤、引地、三浦、中山、榎本、前川○鳴門市○高田、三井、近藤、渡辺、小田、井上、上田、吉田、佐川、大西、内田、渡辺○吉野川市○住友、竹内、福原、太田、藤田、三浦、上岡、福田、久保、林、小原、和田、岡本、角野、原、花侍○牟岐町○古藤○阿南市○石川、松浦、橋本、原、島、原田、玉田、清水、保田○佐那河内村○横田、NPO法人一村、横山○石井町○遠藤、岡本、近藤、井上、田中、仁志、岩崎、相田、谷川、桑内、松原、吉田、美馬、岸田、大野○つるぎ町○谷、藤田○藍住町○佐々木、大松、川端、友川、富田、影山、梶本、森本、福本、氏久、山本、杉村、石川、西林、井上、川口、二宮、西山、三好、妙見、岡本、大和、南、櫻木、大江、大泉、森下、佐藤○阿波市○森長、井内、川崎、田中○北島町○松田、榎葉、萩原、下野、橋田、西原○牟岐町○岡部○上板町○河野、快樂、岩崎、山口、板東、森、平田、吉本、鈴田、稲井、渡辺○板野町○橋本、井上○東みよし町○堀尾、日野、橋本、大原、株木、竹林、福井、西林、田中、小松島市○大和、徳政、浜田、豊栖、高木、浜口、玉田、澤井、坂尾、小川○三好市○藍原○美馬市○ヒロカワ、木村、佐條、大塚○その他○湯本、味之久○大阪府○藤田○兵庫県○村主○京都府○木村、井上○香川県○松村、饗場、新田、富島○愛媛県○浜田○愛知県○松浦○静岡県○杉本、中村○長野県○吉川○東京都○三木、小林、瀧倉、小山○神奈川県○高坂、後藤○福岡県○永峰

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○岸下、大村、三木、野上屋不動産、藤本、藤田、川崎、田村、宇田、神田、宮越、宇治、大平、松田、平田、小川、廣瀬、徳島市自立訓練センターせせらぎ、長浜、浜、松崎、松本、新居、石田、柳本、柿本、濱田、林、橋本、大櫛内科、市橋、井利、真鍋、中島、秋山、岸、福田、河井、村上、富島、長野、ピンク美容院、土肥、笹野、大久保、大野、篠原、中西、オガラ、佐藤、岸下、中山、金山、武市、宮竹、西富田公民館、吉本、中川マタニティクリニック、高源、篠野、川野、宇治製菓、鎌倉、佐野、吉田、ひのき、門條、日野、橋本、大原、株木、竹林、福井、西林、田中、かもの園、三宅、矢田、吉田、今泉、富永、森下、早見、三好、城福、古川、川端、川野、高橋、稲垣、阿部、西谷、福井、森田、伊沢、喜田、岩佐、こうの、矢野、横山、豊成、岸田、松井、太陽堂薬局、藤本、坂野、中西、大櫛内科、本田、田村、大北、藤島、桜井、甲斐、森重、増田、橋本、生田、浜、川端、渡部、龍木、土肥、榎本、岡、小久見、中川、林、佐藤、吉田、西岡、岡本、森、村上、手城、伊沢、島、浜、長野、山尾、有井、遠藤、鈴江、本久、大和、岡久、宮脇、松崎、花瀬、住谷、川野、とすて、中西、立川、西林、榎本、佐川、林、大久保、上野、能田、中塚、阿波銀行住友ビル、豊栄建設、流、小川司法書士事務所、三木、瀬尾、渡辺、井堀、住友、武市、坂東、青木、平石、宮越、土屋、生長の家、松下、坂本、高瀬、湯浅、大櫛、バルネケ、宮内、三橋、品山、本城、本久、吉野、真鍋、沼田、村松、遠山、里東、吉田、田井、近藤、ワタ、前田、大寺、松浦、岡本、山下、松崎、船越、中井、和田、大櫛、石原、豊井、新見、武村、前川、小野、横山、安永、木村、辻岡、中島、県営住宅管理センター、遠藤、宮本、里東、小林、美馬、戎、西、松原、椎野、本田、山本、川崎、中川、上田○鳴門市○石丸、ミスグチ、斎藤、小島、大西、大森、張間、三井、大和、岩田、久龍、山根、宝来、中川、石川○板野町○高田、藤井○松茂町○井川、ANA徳島空港○小松島市○郡、藤岡、本久○石井町○坂東、村本、今泉、三木、山崎、久米、井上、岡田、福原○北島町○安芸、イイサカ、栗村、

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の皆様からご協力を頂いております。旬のお野菜、果物、飲み物、お菓子などを下さった皆様もありがとうございます。メッセージを添えてお品物を郵送して下さいました皆様、その他の皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます。頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

編集後記～区別がつかない

「誰が健常者で、誰が障害者か、区別がつかない」

以前見学に来て下さった方からそのような言葉を頂いたことがあります。

太陽と緑の会では、リユース商品の価格決定とトラックの運転を除く、ありとあらゆる作業(レジ、電話、パソコンのデスクワークも含む)に、様々なハンディを持ったメンバーが関わっています。

スタッフが作業の中心にいてメンバーは下手間・雑用のみ、といったスタイルではなく、それぞれができることを任せ、なるべく前面に出て行くというスタイルを大切にしてきました。

(もちろん、前面に出たくないというメンバーの方のためにバックヤードも用意しています)

トラックで各ご家庭を回り、品物を頂くのも、スタッフとメンバーのペアでお伺いします。

中高生の職場体験実習や、大学生・社会人の体験ボランティア・研修においても、やり方を説明しながら一緒に作業するのはメンバーです。

(どうしてもヘルプが必要な時だけ、スタッフが助け舟を出すこともあります)

「区別がつかない」が故のトラブルや失敗は山ほどありますが、それでも、ユニフォームの色で区別したり、スタッフを「先生」と呼ばせたり、といったことをあえてやっていません。

戸惑われることも多々あるかと思いますが、それでも多くの皆様が、ご家庭で不要となったものを提供して下さったり、リユース品を探しに足を運んで下さったり、いろいろな差し入れまでして下さったり、本当に有難いことと思います。

(文責:小山)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く豊かであることを願っております。

発行:NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-642-1054
代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎
ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田
ゆうメール押印・宛名シール添付担当メンバー 堀
製本・発送作業担当メンバー 岡田 福住

年会費：正会員 1万円 (総会議決権)

準会員 1,000円 (機関誌発送のみ)

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名：特定非営利活動法人太陽と緑の会